時事新報定價

時事新報は毎號十面乃至十六面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價（府外遞送には此他後に掲ぐる遞送料を要す）

一號　貳錢五厘○一箇月　前金五拾錢○三箇月　前金壹圓四拾五錢○六箇月　前金貳圓八拾五錢○一箇年　前金五圓六十錢○月曜日休刊（此他大祭祝日年始年末一切休刊せり）

前金　一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て返還する事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の前金は廣告を以て勘定する事と御承知被下度候

時事新報遞送料

一　日本國内並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山港
一箇月　金拾三錢

二　南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を除て郵送する歐洲各國
一箇月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋
一箇月　金三拾錢

四　倉地を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲
一箇月　金六拾五錢

五　露領浦潮斯偵、清國諸港
一箇月　金三拾五錢

時事新報廣告料（賠食）

一行壹號活字廿四字詰	一日限	二日以上
一行　同　廿	十七錢	十六錢
一行　同　廿	十六錢	十五錢

社說

官設鐵道の賣却

我邦の鐵道は官設民設の二論ありて久しき以前より互に爭論したれども大勢は遂に民論に傾かたるものゝ如し民設鐵道の實際を見れば工事の設計と云ひ營業の管理法と云ひ高事高論利益を專一とするの常なるが故に自から種々の欠點を免れず從來鐵道に就ての事實は大抵民設に多きの事實を思へば民論も他くゝ注意せられば一概に贊成し難しと雖も又官設鐵道は如何にと云へば政府の事業は本來利益の目的に非ざれば乘客便利の注意は勿論荷物の積卸等に至るまで改良進歩の念に乏しく發車の度數其他の用意の如き數年來殆んど變化なしと云ふも可なり其不便は種々なる中にも殊に東海道鐵道の通路なる岐阜、大垣邊は有名の水地にて年々何水の氾濫を免かれざる其度ごとに線路は全く水に浸されて一二週間の不通を見るが如き最も甚だしきものと云ふ可し幾新前車往脚往にて東海道を旅行したる當時なりしに川止めに遭ひて數日間途中に滯留するなどは毎度のことなれども一瞬時間を爭ふ今の世の中に一週間も二週間も不通とありては旅客の迷惑は云ふまでもなく商賣上の不利なること大なるはなし或は大地震又は大風雨等數十年の間に一回あるかなきかの天變なりなれども今度の洪水の如きは珍しからぬ出來事にて殆んど毎年の如くに來るものなれば新聞紙上の報道に汽車の不通を惜む如き始末にては今日の事情に適當せざるに非ずと雖も政府の管轄者は本末倒置の考に出なれば其不意の爲めに一般人民に如何なる損害を與へ如何なる影響を及ぼす可きやの點に於ては毫も考慮を費やさゞるが如き始末にて一例を挙げて言へば其一週間の不通の間に軍隊の運輸に關係ありしとの事なれども其運輸の遲延は如何なる損害を與へたるやの事は一言の報道だに無しとは仙臺より大阪へ急送するの必要ありて電報の最中なる今回の如き洪水ありて鐵道の不通

となるみどもありとせば如何す可きや政府如何に冷淡なるも天災に托して其違差し置くみとは出來ざる可し即日即刻より工事に着手して開通を求むるみとならん是等の場合を思へば政府は今日に於て豫め十分なる工事を施し斯る洪水位にては容易に不通とならざる樣注意して平時は勿論如何なる場合にも狼狽せざるの覺悟なかる可らず然りと雖も政府には自から政府の都合あり會計法など云ふ如き究竟なる法律の爲めに十分の運動に難しとならば寧ろ大に決斷して斷然民間に賣渡す可し其賣渡に就ては一切の官設鐵道を一纏めにして拂下車は一日何回以上とし又河海沿岸等の線路は大に堅固にして少なくも今回の洪水位にて不通とならざる樣工事を施す可し等嚴重なる條件を附す可きみと勿論なれば今日の如く政府に所有して十分の修繕も出來ずして荒廢する歐洲各國一箇月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋
一箇月　金三拾錢

四　倉地を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲
一箇月　金六拾五錢

五　露領浦潮斯偵、清國諸港
一箇月　金三拾五錢

又運輸上萬般の改良進歩も擧らずして恰も實の朽腐れと爲すに比して經濟上は勿論國防上の利益も同日の談に非ざる可し抑も政府が最初鐵道を敷設するみとなりたる偶川三百年來の舊夢を破て西洋の文明を國内に輸入するには先づ人民の眼前に新奇の實物を示して其便利に感服せしめ漸次に誘導するより外なしとて蒸汽船を買入れて帆前船と競爭せしめ電信を架設して早飛脚の比にあらざるを示し更に東京横濱間に鐵道を敷設して早駕籠の不便なるを思はしめ次で京都大阪間、大阪神戸間、更らに進んで東海道にも敷設するみとなりたる次第なり斯く政府が實物を示して人民を誘導したるの結果は一般に文明の利器を認めて今日に於ては四方